

中宇治地域 市民協働推進拠点

中宇治の コミュニティ・リビング ワークショップ



2024年10月20日（日）
15:00～17:00
会場：ゆめりあうじ

vol.3 市民協働推進拠点の 具体的なプランを想像する

中宇治地域の新たなまちづくりの拠点整備を、市民協働によって進めるためのワークショップの第3回目を行いました。最終回となる今回のテーマは、「市民協働推進拠点の具体的なプランを想像する」です。UDCUの宮城俊作さんによる話題提供の後、グループワークを行いました。

〔空間をイメージする〕

宮城さんから、前回のワークショップの成果をもとに作成されたモデルプランについての解説と、空間のイメージを共有するために参考となる日本全国の交流空間の事例を紹介していただきまし

た。モデルプランはA、B、Cの三案に分かれ、広場やホール、カフェの配置がそれぞれ異なります。例えば、カフェの配置については、広場に面して日当たりの良い敷地北側に配置する案と、あがた通りからの視認性が高い敷地南東に配置する案に分かれています。このような配置の違いにより、人の動線や視線の抜け方、建物と広場のつながり方が変わるという説明がありました。

参考事例の紹介では、芝生広場や子どもの遊び場、シェアキッチンなど、グループワークでこれまでに出了アイデアに基づき、どれも小さなスペースながら、多様な使い方ができる空間を紹介していた

だきました。

宮城さんの話題提供を受けて、参加者の方からは広場と建物のつながり、そして敷地の中と外のつながりといった二つの内と外の関係性が大事になってくるといったコメントがあり、グループワークにおける重要な視点が提供されました。

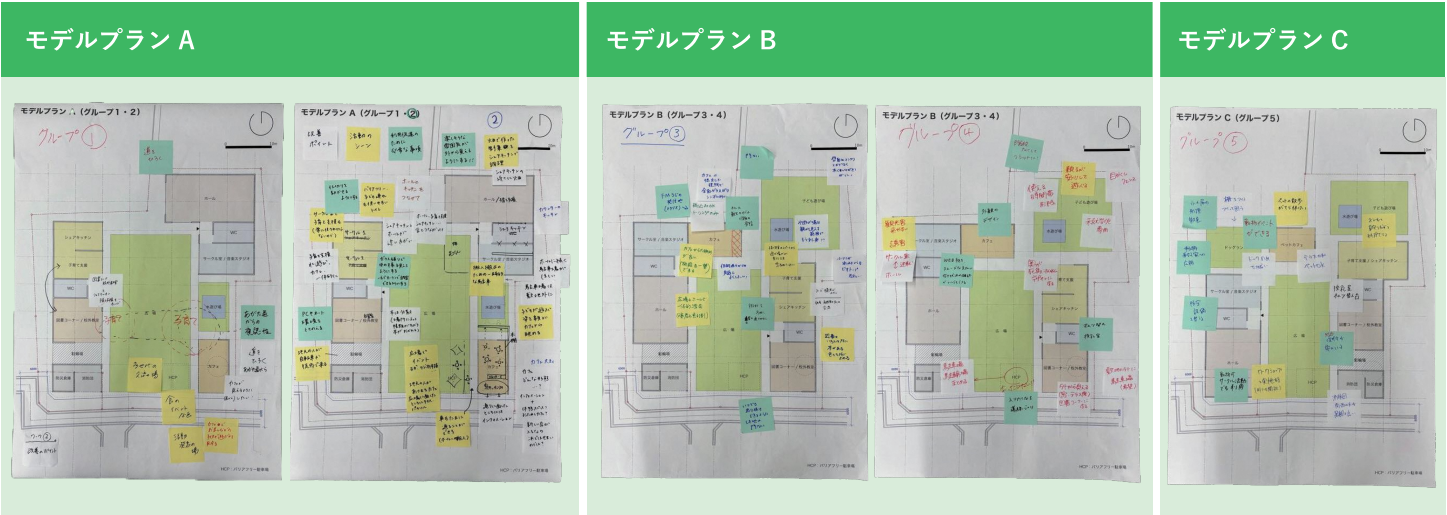
モデルプランができたことで、参加者の皆さんも空間が形になっていく実感を持ち、グループワークでより具体的な議論が進むきっかけとなったようです。

〔モデルプランの検討〕

グループワークでは初めに、第2回ワークショップの成果とそれらを反映した自らのグループのモデルプランを比較したのち、他のグループのモデルプランの参考にできる点と課題になる点を挙げていきました。他のモデルプランを見ながら、これは自分たちのプランにも当てはまりそうだといった声があがり、積極的に取り入れていく様子が見られました。比較をすることで、自分たちが大事にしたい点が明確になっていったよう



各グループ最終成果物



です。また、グループワークの後半では、それぞれで挙げたモデルプランの良い点と課題点を全体で共有し、それらのフィードバックを踏まえて、さらに自分たちのモデルプランを発展させていきました。議論の中で、より具体的な活動や使い方をイメージし、機能を重ね合わせながらプランの検討が進んでいきました。

「自分たちで作る」

敷地の内外のつながりを考えるにあたり、今回は動線に加え、視認性についても多くの議論が交わされました。例えば、あがた通りから建物が見えやすくなるように、敷地南側の前面道路を拡幅した方が良いという意見や、視線が敷地の奥まで抜けるように、また、人の動線を考え、敷地を拡張した方が良いという意見が出され、敷地が閉鎖的にならず、人々が気軽に訪れることができるデザインが意識されていました。敷地内でのつながりに関しても、広場と一体的に利用できる建物設計や、親が休憩しながら子どもたちの遊ぶ姿を見守れる配置などが検討されました。

また、提示されたモデルプランの機能にとどまらず、複数の用途に対応できる空間が求められていました。例えば、子育て支援に加えて高齢者も気軽に集える場所や、運動、ワークショップ、サークル活動に利用できるホールなど、様々な機能の重なりが重視されました。

さらに、活動のイメージを具体化するにあたって、観光客の視点も含めた検討が行われましたが、地域に住む人々が日常的に利用しやすい空間づくりを目指し、自分たちが使うならどうしたいかという地域住民としての視点を最優先に最終的な提案がなされました。

ワークショップの最後には宮城さんから「参加者の皆さんがどういう場所にしたいか真剣に考えたことで、自分たちの場所として使い続け、作り続けていくという思いを持つきっかけにできたのではないか」という講評があり、これからも自分たちで考え、関わり続けてほしいとおっしゃっていました。

全3回にわたって同じグループで取り組んだことで、回を重ねるごとにスムーズに議論が進み、開始直後から活発な意



見交換がなされていたことが印象的でした。ワークショップは今回で最後となりますが、これまでの成果を踏まえて中宇治地域の市民協働推進拠点の整備を具体的に事業化するための方法を模索していきます。

中宇治のコミュニティ・リビング
ワークショップ
主催：宇治市
アーバンデザインセンター宇治
発行：2024年11月16日

